

## 小2国語 出題のねらいと対策

### 1 かん字の読みとり 89.2%

**ねらい**：漢字の正しい読み取りができるかを問う。

**分析と対策**：(2)「同時」や(4)「今後」は発語することがまだあまりない語ですが、それぞれ音読みになります。

### 2 かん字の書きとり 95.0%

**ねらい**：漢字の正しい書き取りができるかを問う。

**分析と対策**：一画一画をていねいに書くようにしましょう。とめ・はね・はらいなどは、新しい漢字が出るたびに注意して書くようにしましょう。

### 3 ていねいな言い方 90.8%

**ねらい**：常体と敬体とが正しく使い分けられるかを問う。

**分析と対策**：「です」「ます」について、「でした」「ました」、「でしょ(う)」「ましょ(う)」などと、後に続くことばによって形が変わることに注意しましょう。また、(3)の「ふらなかつた」を「ふりませんでした」と表す場合のように、「ます」と「です」を組み合わせる言い方もあります。

### 4 主語とじゅつ語 80.0%

**ねらい**：「何が・どうする」「何が・どんなだ」「何が・何だ」という文の基本的な形の理解を問う。

**分析と対策**：主語と述語をつなげると意味が通る文になることを、選択肢のことばを一つずつつなげて確かめてみましょう。

### 5 音やようすを表すことば 86.7%

**ねらい**：擬音語と擬態語について、その違いが理解できるかを問う。

**分析と対策**：擬音語と擬態語の違いは、実際にそのような音が出ているかどうかの違いです。(1)「前足をペロペロなめる」の「ペロペロ」は、実際にそのような音が聞こえるわけではないので、様子を表すことば（擬態語）です。(2)「かみなりがゴロゴロ鳴っている」の「ゴロゴロ」のように、音を表すことば（擬音語）は、実際にそのような音が聞こえるかどうかを確かめてみるとよいでしょう。

### 6 せつ明文の読みとり 76.1%

**ねらい**：語句の意味や、文章の内容が正しくとらえられているかを問う。

**分析と対策**：秋の夜に野原を飛び回っているコウモリガの生態についての説明文です。夜行性であること、たまごをあちこちにたくさん生むこと、幼虫の成長する様子などについて述べられています。昼行性のチョウや決まった場所にたまごを生むアゲハなどと異なる生態について理解しましょう。(1)は本文にある昼行性の昆虫をおさえる問題、(4)はコウモリガの幼虫の生態について確認する問題です。(6)の内容一致問題は、選択肢の一つ一つを本文と照らし合わせて、どの部分が本文と合っていて、どの部分が合っていないかを確認しておきましょう。

全体の平均点は84.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。